

美容師として仕事をする傍ら、グラフィックデザイナーとしての一面を持つ山吉理恵さん。グラフィックデザイナーとは、主に印刷物のデザインをする職業のことで、山吉さんはこれまでに商店街のチラシやポスター、レストランはまなすの顔出しパネルなど、さまざまな媒体のデザインを手掛けている。カミングパラダイスでおなじみのキャラクター「パラ吉」の生みの親も山吉さんだ。「パラ吉は“遊びにおいでよ”というコンセプトで、招き猫をモチーフにデザインしました。カミパラ

実行委員会からいくつかデザインを求められて、何点か出したのですが、なかなかOKがもらえず、もう、どうしたらいいのか分からなくなって、泣いた記憶があります(笑)。そういうことがあったので、第24回(2016年)のカミパラで、パラ吉が本格的な着ぐるみになったときは感動しましたね」
山吉さんが幼稚園児の頃、先生から両親宛に『お子さんは絵を描くのが好きなので、いつも身近なところにペンと紙を置いてあげてください』という手紙が届けられたそうだ。始まりはこの一通の手

紙だったのかもしれない。「子どもの頃から絵を描くのは好きだったので、よく描いていました。そのうち部活のポスターや英語の教材の紙芝居とか、友だちの似顔絵なども頼まれて描くようになりました。『上手だね』と、褒められるのがうれしくて、何でも引き受けていたように思います(笑)」

週6日、美容師の仕事をしながらいっぱいデザインを制作するのは大変ではないだろうか。「デザインをするのは趣味なので、大変だと思ったことはないのですが、締め切りが複数重なってしまうと、いっぱいっばいになってしまうことはありますね(笑)。普段から雑誌やネットで、はやりのデザインを集めたり、新しい技法を取得するのは楽しいですし、トレンドの色合いや構成、構図の研究は美容と共通することも多いので、仕事にも役立っていると思います」

山吉さんが今もデザインの依頼を受けているのは、単に絵を描くのが好きということだけではない。「最初は自分のために絵を描いていたんですが、今は誰かのためにデザインをすることの方が多いですね。私の特技を認めてくれて、センスを信用していただいていることが何よりもうれしくて。だからその気持ちにはいつも全力で応えたいと思っています。喜んでもらえることが次の原動力になっています。これからもチラシやポスターなどは、見てくれる人に分かりやすく、明るいデザインを心掛けますので、私のデザインしたものが、商店街や町の活気づくりにも少しでも役立てばうれしいです」

山吉理恵

やまよし りえ

1967年7月6日生まれ。白糠町出身。北海道女子短期大学(現北翔大学)卒業後、帯広市の藤丸百貨店に勤務。現在は「おしゃれハウス山吉」で美容師を務めている。趣味は音楽やお笑いのライブに行くこと。夫と2人暮らし。



「喜んでもらえることが
次の原動力につながる」



白糠テークアウトのチラシや2019年に行われた「しらぬか音楽会」のポスターなども山吉さんが作成しました。